

第2回 光市コミュニティ推進基本方針策定懇話会

日時：2013年4月27日(土) 13:00～17:00

場所：地域づくり支援センター

プログラム

- 光市コミュニティ推進
基本方針策定懇話会
13:00～17:00 2013.4.27
1. 開会あいさつ
 2. ファシリテーター紹介
 3. ワークショップ
 - (1) 前回のふりかえり
 - (2) 疑問の抽出・整理・発問
 - (3) まとめ
 4. 質疑応答
 5. 次回の案内

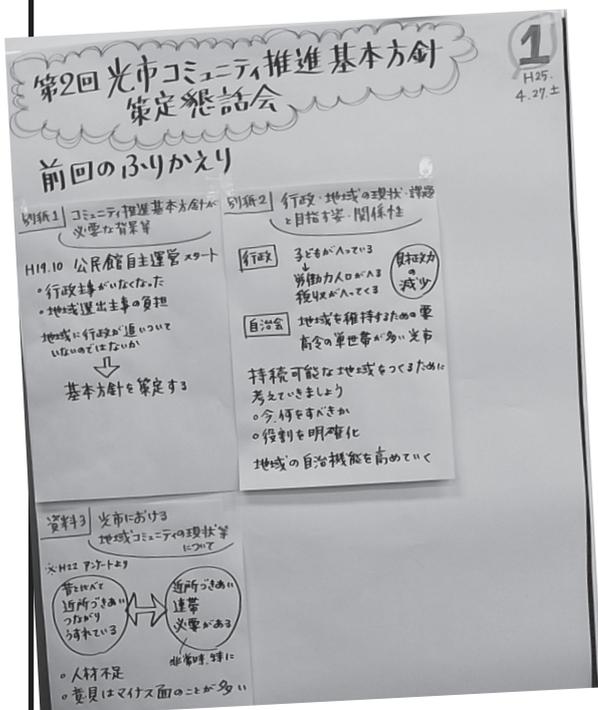
今日のねらい

- ① 疑問の解消
前回の資料を振り返って、分からないこと、疑問に思っていることを共有します。
- ② 懇話会のゴールを共有
懇話会の位置づけや、基本方針とはどのようなものかを確認します。



1. 前回の振り返り

- ・コミュニティ推進基本方針が必要な背景
- ・行政・地域の現状・課題と目指す姿・関係性
- ・光市における地域コミュニティの現状等について



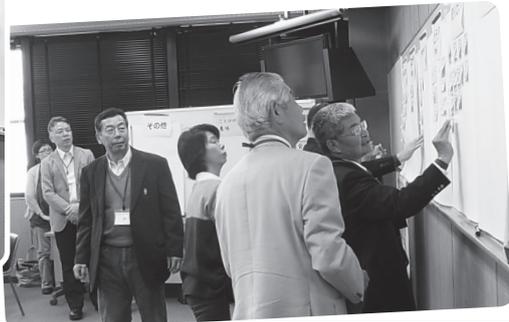
2. 疑問の抽出

振り返りをもとに、疑問や提案をふせんに書き、内容ごとに分類しました。



疑問を分類

- ・ yes/no
- ・ なぜ？
- ・ そもそも？
- ・ どう？
- ・ 提案
- ・ 知りたい



3. 疑問に対する回答

ふせんの疑問について、市職員が回答したり、委員のみなさんにご意見をいただきました。

市と地域が同じ立場で、一緒に考える！



基本方針とは…

全地域共通・光市全体としての大きな枠組
ページ数：30ページ程度

「光市は、こう考えているんだ！」と分かる枠組

疑問の抽出・整理・共有

2 H25. 4.27.土

疑問	回答
懇話会 おらい いつまで?	役割：課題に対する解決策を考えていく ↓ 市：まとめて、方針の案を作る ↓ たまたまを見てまた意見交換 H26.3月 策定 ← それまでの9回 おつきあいたい 大きな枠組を話し、決めていくのが懇話会 全部で多くて30ページくらいかな。 懇話会 — したい話がある場 委員会とはちがう 今日の話を地域に持ち帰って、地域の人と話し合いたい
12地域共通?	市全体のららんばん、市全体のもの 12地域共通のもの 包括したもの 単位自治会の集合体 = 連合自治会 食推進、地区社協なども含める 施設のものに生涯学習がある 地域づくりの拠点でもある 火節ではグリーンランド 地域をみんなて経営していく 自分たちの地域の自由度は高くなる 自分たちで優先順位をつけたり、選択したりしていかなくてはならない
連合自治会 のとは?	あわせたものが コミュニティ
公民館と生涯学習	この基本方針で整理していかなくてはならない

3 H25. 4.27.土

連合自治会、地区社協などの団体に話は？
開連団体はまた話をしていない
連合自治体 — 加入制、会費をとっている
関係をよく考えていかなければいけない
1人1役? トップ集団の会議?
公暮の人は、1人1役だが、いつもの役をこなしている人
1人1役にして広げていかなければいけないと思う
目的が明確でない
自主運営がスタートしたと見えてくる課題
地域と行政の話はあいてきていけば、自主運営の課題は出てこなかったのではない
行政と市民の関わり — この懇話会でもつなげてい
現場で実際に困っていること
地域に関わっていない
民間活力の活性化による活性化
行政改革 (導入)
財政的なカット → 地域へ
浅江地区 決して先進的ではない
いろいろノウハウをもった方に力をかりて、各部門で活動しているが、うまくいっているか検証が必要
H17年「地域づくり推進会議」これをベースにして
→ H19 コミュニティの取組 委員も続けてきている
地域に伝えている 地域づくり推進委員、学校、商店街は
他の地域は、地域に伝わっていない 学校、商店街は
地域づくり推進部 つながっている
自分たちが自分たちのまちを知ろう
→ いろいろマップを履せん、浅江でつくってマップ (学生が作成)
「東江浜美術館」ホームページ立ちあげた — 発信、反響あり

5 H25. 4.27.土

次回は
現状の課題 (別紙2) をもっと足していこう
各地区のこと、みなさんが思っていること
地区の人に話を聞いてもらって、それを出すのもいいですね
公民館の方、若い人、家族、団体の人など

質疑応答

中身によっては、区別が難しいものもある
これは行政、これは地域と
行政が主体、地域が主体、というものはあるだろう
→ たしかに密接に相互に関わることもあるが、方針としては役割が書けることも… 難しい
方針にどう表すが、幅をもたせざる等、ある程度項目が出てから考えた
懇話会で今後方針を出しても、行政はたてわりである
ディスカッションした結果が、このくらいの中まで反映できるのか?
→ そのために、市内で横串をさす、機能するように
「これからのまちづくりへの参加」する人々が減っている現状
こういった市民の現状もよく考えて、話し合っていくべきではない

4 H25. 4.27.土

今までの公民館、コミュニティ一番かわったと思うものは何?

連合自治会 — 運動会だけの関わり
↓
全てに関わるようになった
宗像市 — 全ての地域の散歩マップがある
カジェトを人をつなぐ → できる (しかけ人がいる)
非常時でない時に、交流の場をつくる
「役員にははたたくくない」という人たちが、どり巻きこむか
光市の多くの地域では、まだ「コミュニティ」という言葉も知らない人多く、自主防災組織が立ち上がっていないところも多い、それを志本などで話し
立ちあげのノウハウ必要
いろいろアイデア → 実行にうつす フェス
人の巻きこみ
行政と地域の協働 → 1+1が2以上になる
行政が公共を担ってきたが、それだけでは難しくなってきた
市全体の「公」を担う行政
地域、地元にベースにしたコミュニティ
テーマで動くNPO
重なる部分は、一緒にせりましよう
今まで行政に頼ってこられた地域のことには、地域と行政
資料など提供できたら次回に。

協働の意識を育めるには?
人口はホントに少なくなるの? 年々構成の変化
市はどり思っているの?

次回は…

地域の課題・不安などの現状を、新しい提案につながるかたちに整理します。

地域のみなさん (公民館主事さんや、若い世代) にも意見を聞いて、材料をふくらませておいてください!